

2 . 環境問題の関心 (問 2)

現在関心の高い環境問題は、「地球温暖化」「オゾン層の破壊」「不法投棄など廃棄物の不適切な処理」「大気汚染」等である。一方、「黄砂」「地盤沈下」に対しては関心が低い。

また、前回と比較して「国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少」「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」に対する関心が上昇している。

環境問題への関心の有無を尋ねたところ、最も関心が高い項目は「地球温暖化」(82%)、次いで「オゾン層の破壊」(60%)であり、これらはいずれも地球規模での環境問題である。さらに過半数の人が関心を示した項目は、「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」(57%)、「大気汚染」(54%)である。

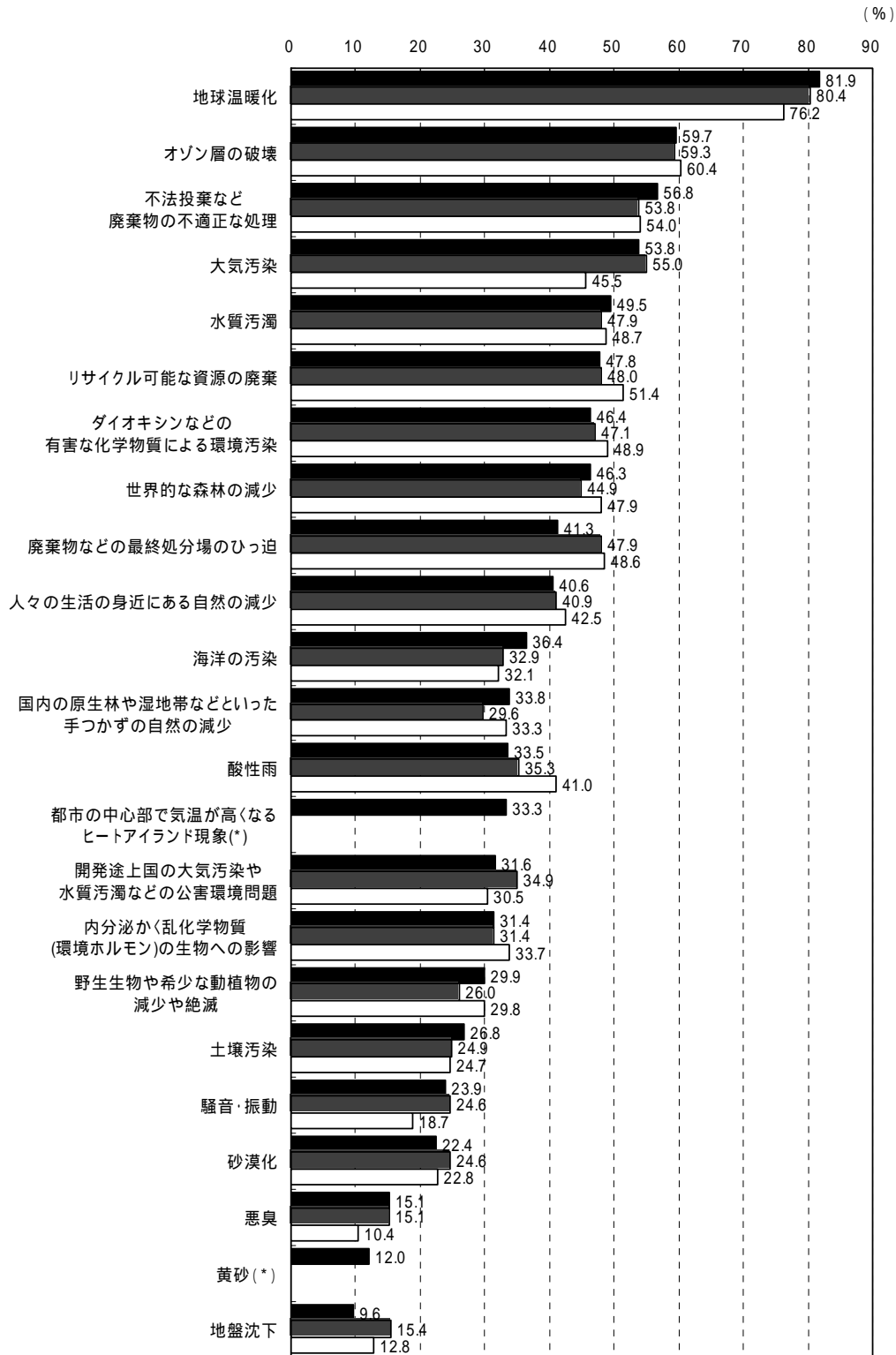
また、他に半数近くの人が関心を示した項目は以下のとおりである。

- ・ 「水質汚濁」(50%)
- ・ 「リサイクル可能な資源の廃棄」(48%)

一方、関心が低い項目は「砂漠化」(22%)、「悪臭」(15%)、「黄砂」(12%)、「地盤沈下」(10%)である。

前回の調査と比較すると、「国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少」「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」という自然と直結した問題と「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」という都市問題両面の関心が強まっている。

【図表 2-1】環境問題の関心（全体、時系列：複数回答）



■ 平成15年度(今回) N=1,267 ■ 平成14年度(前回) N=1,211 □ 平成13年度(前々回) N=1,248

注)*印のものは、今回の調査より追加した項目を示す。

環境問題について、男性の方が女性よりも関心を持つ比率が5ポイント以上高い項目は存在しない。これに対し、女性の方が男性よりも関心を持つ比率が5ポイント以上高い項目としては「大気汚染」「リサイクル可能な資源の廃棄」「ダイオキシンなどの化学物質による環境汚染」「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象」「内分泌かく乱物質（環境ホルモン）の生物への影響」「土壌汚染」がある。

関心を持つ比率が全体よりも10ポイント以上高い項目を年齢別にみた結果を以下に示す。

20代「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」

「砂漠化」

30代「ダイオキシンなど有害な化学物質による環境汚染」

「内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）の生物への影響」

関心を持つ比率が全体よりも特に高い項目（15ポイント以上）を職業別にみた結果を以下に示す。

商工サービス「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」

「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象」

自由業「国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少」

「砂漠化」

団体職員「オゾン層の破壊」

学生「世界的な森林の減少」

「海洋の汚染」

「酸性雨」

「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」

「砂漠化」

その他「人々の生活の身近にある自然の減少」

業種別には商工サービス、自由業、学生において、環境問題への関心が高いことがうかがえる。

【図表 2-2】環境問題の関心（性別、年齢別、職業別：複数回答）

単位：%

	性別			年齢別						職業別											
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	1267	586	652	118	177	212	287	288	163	68	89	29	36	280	60	32	26	134	239	198	42
地球温暖化	81.9	81.2	83.1	85.6	83.1	84.4	85.0	80.9	73.6	72.1	85.4	82.8	72.2	83.6	81.7	93.8	92.3	85.1	85.8	75.8	83.3
オゾン層の破壊	59.7	58.4	61.7	65.3	64.4	67.0	64.5	54.2	44.8	38.2	59.6	72.4	47.2	66.4	60.0	78.1	69.2	71.6	59.8	47.0	64.3
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	56.8	58.7	55.2	50.0	53.7	55.2	59.6	62.8	51.5	44.1	76.4	55.2	50.0	59.6	43.3	68.8	42.3	57.5	55.2	55.6	54.8
大気汚染	53.8	50.2	57.4	63.6	55.4	46.7	51.9	54.5	56.4	27.9	55.1	62.1	50.0	52.9	36.7	53.1	65.4	59.0	60.3	58.1	50.0
水質汚濁	49.5	47.3	52.1	57.6	57.1	47.6	51.2	45.5	43.6	35.3	53.9	62.1	44.4	49.6	46.7	50.0	61.5	52.2	52.7	47.0	50.0
リサイクル可能な資源の廃棄	47.8	43.3	51.4	44.9	54.2	47.6	45.3	50.0	41.7	36.8	52.8	55.2	41.7	46.4	38.3	43.8	53.8	49.3	53.1	46.0	52.4
ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	46.4	40.8	51.8	50.8	56.5	44.3	48.4	41.7	40.5	36.8	47.2	58.6	36.1	45.7	48.3	46.9	53.8	49.3	59.4	34.8	38.1
世界的な森林の減少	46.3	45.6	47.4	52.5	50.3	48.1	49.8	44.4	34.4	22.1	59.6	51.7	38.9	47.1	48.3	59.4	61.5	41.8	51.0	41.4	54.8
廃棄物などの最終処分場のひっ迫	41.3	41.8	40.5	34.7	44.1	37.3	42.5	45.5	36.8	33.8	47.2	27.6	27.8	37.5	40.0	50.0	42.3	44.0	43.1	43.4	45.2
人々の生活の身近にある自然の減少	40.6	38.6	42.8	40.7	40.1	35.8	47.4	39.6	38.0	22.1	51.7	51.7	30.6	40.0	31.7	43.8	38.5	40.3	39.7	43.9	57.1
海洋の汚染	36.4	36.9	36.7	44.1	45.8	35.8	35.9	35.4	26.4	17.6	46.1	34.5	25.0	40.7	36.7	46.9	53.8	34.3	38.5	30.8	38.1
国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	33.8	34.5	33.6	35.6	35.6	29.7	35.2	35.8	30.7	17.6	44.9	55.2	33.3	33.6	33.3	40.6	38.5	29.9	35.1	31.8	38.1
酸性雨	33.5	33.4	33.6	26.3	40.7	31.1	36.6	33.0	28.8	29.4	41.6	41.4	27.8	35.7	26.7	31.3	50.0	33.6	33.5	30.3	26.2
都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象(*)	33.3	30.4	35.4	34.7	41.8	31.1	34.5	32.3	23.9	17.6	49.4	34.5	27.8	31.8	26.7	37.5	38.5	35.8	36.4	26.8	42.9
開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題	31.6	31.4	31.3	33.1	31.6	27.4	32.4	33.3	30.1	22.1	43.8	27.6	19.4	30.0	31.7	40.6	42.3	22.4	36.0	29.8	40.5
内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響	31.4	27.0	35.7	38.1	44.6	27.4	34.1	24.7	24.5	13.2	37.1	34.5	22.2	29.6	40.0	37.5	38.5	37.3	39.7	21.2	26.2
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	29.9	31.6	28.8	42.4	35.6	27.8	28.2	27.1	26.4	14.7	34.8	41.4	25.0	32.1	36.7	25.0	46.2	27.6	29.3	30.8	26.2
土壌汚染	26.8	24.1	29.6	28.0	30.5	27.8	28.6	25.7	19.6	11.8	39.3	34.5	19.4	24.3	30.0	31.3	34.6	28.4	30.5	22.7	28.6
騒音・振動	23.9	23.2	24.1	18.6	26.6	22.6	23.3	25.0	23.3	10.3	32.6	20.7	13.9	19.6	16.7	31.3	23.1	27.6	23.4	28.3	33.3
砂漠化	22.4	23.5	21.6	34.7	28.8	19.8	23.7	19.4	12.9	13.2	23.6	37.9	19.4	26.4	25.0	25.0	46.2	19.4	21.8	17.2	21.4
悪臭	15.1	13.3	16.6	16.1	15.8	11.8	16.7	16.3	12.3	2.9	18.0	10.3	5.6	17.5	11.7	15.6	23.1	17.2	12.1	17.7	19.0
黄砂	12.0	11.1	12.7	7.6	7.3	10.8	16.7	10.1	16.0	5.9	12.4	20.7	16.7	10.0	5.0	6.3	7.7	11.9	11.3	17.2	16.7
地盤沈下	9.6	9.0	10.0	10.2	8.5	6.6	9.4	11.5	11.0	5.9	15.7	10.3	11.1	9.6	5.0	9.4	7.7	9.7	7.9	13.1	2.4
その他	2.4	2.9	2.0	4.2	2.3	1.4	2.8	1.7	3.1	-	2.2	13.8	2.8	3.2	-	-	7.7	0.7	1.3	3.0	4.8
無回答	0.8	0.7	0.9	-	-	0.5	0.7	1.0	2.5	1.5	-	3.4	-	-	-	-	-	-	1.7	2.0	-

地域別にみると、関心を持つ比率が全体より 10 ポイント以上高い項目は、関東の「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象」と北陸の「黄砂」である。また、関東、近畿、中国・四国では全体を上回る項目が多いが、北海道・東北、北陸や九州では全体を下回る項目が多く、巨大都市圏を擁する地域の方が概して環境問題への関心が高い傾向にある。

都市規模別にみても、関心を持つ比率が全体より 10 ポイント以上高い項目は、政令指定都市の「国内の原生林や湿地耐などといった手つかずの自然の減少」と「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象」の 2 項目である。また、「大気汚染」「リサイクル可能な資源の廃棄」「人々の生活の身近にある自然の減少」「国内の原生林や湿地耐などといった手つかずの自然の減少」「酸性雨」「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象」「騒音・振動」「悪臭」の 8 項目は、都市規模が大きいほど関心が高くなっている。

【図表 2-3】環境問題の関心（地域別、都市規模別：複数回答）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数(N)	1,267	165	397	48	194	176	129	142	264	466	249	272
地球温暖化	81.9	79.4	81.6	81.3	83.5	81.8	79.1	85.9	84.1	81.8	85.5	76.5
オゾン層の破壊	59.7	57.6	63.0	52.1	61.9	58.0	55.8	60.6	66.3	60.5	63.5	49.6
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	56.8	51.5	58.4	50.0	64.9	51.1	64.3	50.0	53.4	61.8	58.2	50.4
大気汚染	53.8	45.5	57.2	43.8	52.1	58.0	58.1	48.6	62.5	58.2	48.2	41.9
水質汚濁	49.5	47.9	48.6	43.8	49.0	54.5	57.4	44.4	48.5	52.1	51.0	45.2
リサイクル可能な資源の廃棄	47.8	43.0	49.6	52.1	52.6	44.3	49.6	41.5	51.5	48.9	47.4	41.9
ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	46.4	41.8	49.1	39.6	39.7	47.7	50.4	50.0	48.9	46.4	48.6	41.9
世界的な森林の減少	46.3	44.8	52.4	37.5	43.8	45.5	46.5	40.1	52.3	48.7	49.0	34.9
廃棄物などの最終処分場のひっ迫	41.3	46.1	41.3	31.3	44.8	35.8	45.0	38.0	40.9	43.1	42.6	37.5
人々の生活の身近にある自然の減少	40.6	30.9	46.3	45.8	44.3	39.8	34.9	35.2	49.2	41.0	40.6	31.6
海洋の汚染	36.4	40.0	35.3	31.3	33.5	36.4	43.4	33.8	40.9	36.7	37.8	29.8
国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	33.8	30.3	38.0	29.2	32.5	35.2	35.7	25.4	44.3	35.4	34.1	20.2
酸性雨	33.5	35.8	33.8	31.3	32.0	31.8	41.9	26.1	37.5	34.8	33.3	26.8
都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象(*)	33.3	24.2	44.6	27.1	29.4	36.9	26.4	22.5	48.5	36.5	28.9	17.6
開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題	31.6	32.1	32.0	33.3	30.4	27.8	34.9	31.7	33.7	33.9	30.5	26.1
内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響	31.4	26.7	32.5	27.1	24.7	30.7	38.8	37.3	34.1	32.4	34.9	23.2
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	29.9	26.1	31.2	27.1	34.0	28.4	32.6	27.5	32.2	33.3	29.3	23.5
土壌汚染	26.8	21.8	26.7	16.7	24.2	28.4	31.0	33.8	28.8	29.0	25.3	22.4
騒音・振動	23.9	19.4	27.7	12.5	22.2	27.3	23.3	18.3	33.7	27.3	20.5	10.3
砂漠化	22.4	21.8	23.4	22.9	26.8	17.6	23.3	21.1	22.7	25.5	22.9	17.3
悪臭	15.1	15.2	16.4	8.3	11.3	15.9	20.9	11.3	16.3	15.9	15.3	11.8
黄砂	12.0	18.2	7.6	25.0	9.3	13.6	12.4	14.1	14.8	11.6	12.0	9.9
地盤沈下	9.6	10.3	10.3	12.5	8.2	10.2	10.1	4.9	11.4	9.2	12.0	5.5
その他	2.4	1.2	2.5	-	4.1	2.3	3.1	1.4	2.7	2.8	2.4	1.5
無回答	0.8	-	1.0	-	-	0.6	1.6	2.1	0.8	1.1	0.4	0.7